

防災士って知ってる？

7月豪雨災害で、安浦も甚大な被害を受けました。避難所開設時から参画されたのは、防災士の中川久美子さん。防災士は“自助”“共助”を主として地域の方々と“共働”して防災力を高める活動をし、そのための知識と技術を習得し、日本防災士機構が認証した人です。

中川さんは、日頃からボランティア活動で、赤十字・学校や保育所と一緒に、防災や事故防止の知識や技術を指導しています。

今回の災害でも、避難された方々に衛生・健康面の指導をされました。中川さんはこの災害を教訓として、防災士や防災リーダーと共に、行政、地域の各団体、地元住民が協力して、安浦の防災体制の将来を考えていけたらいいな!!と言われます。



中川久美子さん

生き残った絶滅危惧種

広島県では、安浦町にのみ自生しているといわれる「リュウノヒゲ藻」、きれいな河川や水路に生える植物で、広島県絶滅危惧種に指定登録されています。

7月豪雨により自生地一帯は水没、水路は土砂で埋って絶滅が心配されましたが、わずかな自生が確認されました。これからも水路内の土砂取り除きなど前途は厳しいですが、豪雨前と同じ様な環境に戻れたらいいなと願っています。



安浦を元気にする活動

ワクワク!! 秋祭り!!
10月7日、内海の安浦会館で、笑顔を取り戻そうと秋祭りが行なわれました。ボランティアの協力で、バルーンアート・ヨーヨー釣・的当てゲーム等のコーナーが作られ、やきそば・から揚げ・ポップコーン等の屋台も並びました。

被災者への支援物資提供コーナー設置や・ミニコンサートも催され、たくさんの家族連れで賑わいました。参加者・主催者共に盛り上がり、笑顔にあふれた一日でした。



地域ネットくれんど
ハロウィン 2018

地域ネットくれんどでは、10月20日(土)水尻1丁目の「はばた樹」でハロウィンパーティーを行いました。地域の方々とのつながりの場として毎年開催しているハロウィンも、10周年を迎えることができました。

来場者も450人近くになり、毎年お世話になっている地元の企業さんや、新規参加の店舗さんなどの力添えで、大盛況で終わることが出来ました。恒例のふわふわドームやお化け屋敷、飲食ブース、毎年アレンジをするゲームコーナーにスタンプラリー等内容は盛りだくさん、来年もぜひ遊びに来てください。



7月豪雨の被災者さんへ!!

安登駅前の駐輪場2階のサロンでは、皆さんの善意で鍋・食器類・衣類などが集まり展示しています。自由に持ち帰りOKなので一度見に来て下さい。

期間 H30.10.1 ~ H31.1.15



災害に負けない 海の幸!!

7月豪雨で三津口湾に大量の土砂や流木が流れ込み、全国でも珍しいといわれるアマモ(海草)は押しつぶされ、県内で唯一の杭打ち式養殖の棚は倒れ、大変な事態となりました。

カキの生育も心配されましたが、業者一丸となって海の掃除をした結果、何とか昨年並みの生産量を確保できる見通しがたち、10月1日の解禁日から出荷が始まりました。



番号	産名	お問合せ先	産名	お問合せ先
1	沖五水産	☎0823-84-4036	安本水産	☎0823-84-7670
2	船水産	☎0823-84-2966	矢野水産	☎0823-84-0188
3	金田水産	☎0823-84-5382	山根水産	☎0823-84-6381
4	藤水産	☎0823-84-4037	山根信行かき作楽所	☎0823-84-2082
5	新水産	☎0823-84-3029	吉田水産	☎0823-84-2824
6	西沖水産	☎0129-84-3775	吉本水産	☎0823-84-4310
7	西本水産	☎0823-84-2497	安浦漁業協同組合	☎0823-84-2003
8	東正則	☎0823-84-5438		

おでかけ情報

12月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	12/14(金) 10:00~12:30	まちづくりセンター調理室(参加費400円)
	シアター(映写会)	12/15(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	安浦地区育児相談室	12/21(金) 10:00~11:30	三津口分館2階和室
	信楽寺カウントダウンコンサート	12/31(月) 21:00~24:00	信楽寺本堂

1月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	1/11(金) 10:00~12:30	まちづくりセンター調理室(参加費400円)
	安浦地区育児相談室	1/18(金) 10:00~11:30	三津口分館2階和室
	シアター(映写会)	1/19(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階

2月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	2/8(金) 10:00~12:30	まちづくりセンター調理室(参加費400円)
	安浦地区育児相談室	2/15(金) 10:00~11:30	三津口分館2階和室
	シアター(映写会)	2/16(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	健康診断	2/18・19(月・火) 8:30~	川尻保健出張所(申込み TEL0823-87-6130)

3月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	3/8(金) 10:00~12:30	まちづくりセンター調理室(参加費400円)
	ストレッチング教室	3/12(火) 10:00~11:30	三津口分館1階ホール
	安浦地区育児相談室	3/15(金) 10:00~11:30	三津口分館2階和室
	シアター(映写会)	3/16(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	栄養教室	3/19(火) 10:00~12:00	まちづくりセンター調理室(参加費50円)

やすうら 記憶遺産

葉タバコ乾燥倉風景



南谷集落などに今も、広島式と呼ばれる特有の排煙窓を持つ乾燥倉が現存する。

水田の収穫が少ない山村の人々にとって、葉タバコは貴重な収入源でした。安浦では、山あいの野路地区で最も多く栽培されていました。

この絵に描かれているのは、大正時代



頃の葉タバコ乾燥倉です。葉タバコは、大きいもので60、70センチもあります。摘み取って数日置いた青い葉を、2、3枚ずつ背中合わせに縄に編み込んで、吊るして乾燥させるのです。「幹干し」という、葉を逆さ吊りにする乾燥方法です。倉の中は、薪などを使って火力乾燥する仕組みになっています。火を使った乾燥は4昼夜も続きます。土壁で固めた倉には、小さな観測窓が数カ所があり、ここからのぞき込んで葉タバコの具合を確かめるといわけです。倉から出した葉は黄色に干し上がり出荷用の完成品となります。

煙草が国家の専売だった時代、耕作や品質、上納の方法が厳しく統制されていました。葉タバコの値段は等級審査によって大きく増減するため、乾燥倉での昼夜の重労働にも、人々の活気がみなぎります。

お寺でライブ!!

三津口の瑞雲寺で10月21日(日)、ライブコンサートがありました。毎年秋に行われるコンサートは今年で20回目。今回は生演奏をバックにしたカラオケもあり、プロ顔負けの歌声を披露されました。



瑞雲寺コンサート



盛り上がったカラオケ

また、内海の信楽寺でも毎年、大晦日にカウントダウンコンサートがあります。昨年はプロ2組とアマ10組の参加もあり、大変盛り上がりしました。



信楽寺コンサート

ぜひ皆様もライブを楽しみに来て下さい。



モーターサイクル半田

呉市安浦町内海南1丁目9-24 ☎84-2254

モーターサイクル半田



各種 免許の数々



前列：高橋夫妻と後列：久保夫妻

モーターサイクル半田店は昭和22年、初代半田忠氏がサイクルショップとして創業。内海地区横町商店街に開業し、通勤通学や買い物などにかかせない自転車やバイクを販売してきました。

昭和33年からは、半田氏に弟子入りした高橋修氏(現77歳)も一員に。当初はメカニズムの習得に苦労したそうですが、日々研鑽され分解・組立・整備等の技術を修得。

初代が引退した昭和45年からは、高橋氏が店を継承。応急修理や新車購入の相談、モトクロスやトライアル競技の企画など顧客のニーズに応え続け、先代が築いた得意先の信用をさらに深めました。

現在は、半田氏と高橋氏の意志を継ぎ、後任として久保賢一氏(51歳)が店長に。新たな顧客、特に若年層の思いを受け入れ、近場から遠方まで大型バイクツーリングの開催にも力をいれています。また7月豪雨後すぐに再開し、若い層からオールドファンまで、幅広い客層が来ています。

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景を ご覧ください。

女子畑



昭和40年代の写真と思われる。当時の静かな農村風景が写っている。



建物は新しくなったが、今も当時と変わらない懐かしい風景が残っている。

三津口湾



昭和35~38年頃の写真。武智丸がまだ陸続きになっておらず、塩田の最東にあった廃塩神社の社と廃塩田の水溜りが写っている。



当時の撮影位置まで行けなかったが、武智丸は立派な防波堤となり、塩田はソーラー発電と運動場に変わった。